

マスコミ特殊講義 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法

IV

担当教員 / Lecturer	実施学期 / Term	単位数 / Credit	配当 / Student Group	曜日・時限 / Date-Time	教室名 / Classroom	授業コード / Class Code
西根 英一 (にしね えいち)	後期	2	文2-4 e 経2-4	-	-	3714

教員連絡欄 / Message to lecturer from Office of Academic Affairs

授業の内容 / Course Description

授業の概要)
コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題をテーマに、その課題抽出から、課題解決に向けたアイデア創発、プロジェクト構想、調査設計、戦略策定、さらに解決策を社会実装させるための広告プロモーションやPRキャンペーンまで、マーケティングコミュニケーション手法に沿って社会的課題を解決するためのマスコミ特講です。

授業の狙い)
多くの課題解決は「課題(X)に対する解決策(Y)の介入支援」というように、X×Yの2軸で始動します。ここにアイデア発想(Z)を加えて、X×Y×Zの3軸を掛け合わせて考えてみましょう。すると、おもしろそうですね！（やってみる価値がありそうですね！の意）が生まれます。それを、広告プロモーションやPRキャンペーンに置き換えて展開すると、社会的課題の解決に《脈動》が感じられるようになります。

到達目標 / Course Goals

課題解決を通り一辺倒でなく、“アイデアを描写する”，さらに“アイデアを表現する”ことで解決する能力の習得を目標にします。

授業の方法 / Teaching Methods

全15回をリアルタイム型（ZOOM利用）で行いますが、授業当日から1週間、ダウンロードにて視聴可能とし、オンデマンド型に対応します。

第1回のオリエンテーションから第5回まではレクチャー中心に毎回90分間、社会的課題の解決に向けたマーケティングコミュニケーション手法について解説します。

第6回以降は、前回提出レポートの講評（15分間）の後、毎回異なる社会的課題を設定して、その課題の事情や実情を解説（15分間）、その後、その課題解決に向けてアイデア創発→戦略策定→解決策の社会実装化についてグループワークします（Zoom内ブレイクアウトセッションにて45分間）。それらを個人ごとにまとめ、レポートを作成して提出します（15分間）。

※グループワークについて：オンデマンド型での参加（後日の動画視聴）となった場合、グループワークに相当する情報交流の機会を設ける、ないし第三者の意見等を偏向なく情報収集したうえ（検索も可）、レポートに臨むこと。

授業の計画 / Course Schedule

- 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法「当講義についてのオリエンテーション」,ならびに「課題抽出と課題解決に向けた内発的動機づけについて」
- 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法「課題解決に向けたアイデア創発とプロジェクト構想について」
- 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法「課題解決に向けた調査設計について」
- 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法「課題解決に向けた戦略策定について」
- 社会的課題を解決するためのマーケティングコミュニケーション手法「課題解決に向けた広告プロモーション&PRキャンペーンについて」
- 社会的課題①（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題②（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題③（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題④（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑤（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑥（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑦（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑧（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑨（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク
- 社会的課題⑩（コロナ禍やSDGsに代表されるいくつかの社会的課題のうちの1つ）についてのテーマ解説,グループワーク

授業時間外の学修(予習・復習等) / Self-study outside of Course Hours (Assignments, Preparation and Review etc.)

講義に対しては復習を主に、取り上げた課題に関心を高めて討論し、学んだ内容について日常の生活のなかで実践し、理解をさらに深めること。毎回、おおよそ2時間くらいの関わりが課題に対して持てることが大切です。

成績評価の基準と方法 / Assessment Criteria and Methods

授業への参画度(25%) グループワークへの参画(発言, 調整, 運営等)(25%) レポート(提出, 内容)(50%)

学期末定期試験は実施せず、上記の総合得点から評価します。
※グループワークについて：オンデマンド型での参加（後日の動画視聴）となった場合、グループワークに相当する情報交流の機会を設ける、ないし第三者の意見等を偏向なく情報収集したうえ（検索も可）、レポートに臨むこと。

教科書 / Textbook

教科書は使用しません。資料を毎回提示します。

参考文献 / Suggested Readings and Supplementary Materials

出典を毎回提示します。

履修者への要望 / Expectations for Enrolled Students

Zoomのオンライン教室（URL）とパスコードは毎回同じ設定です。決して、履修者以外にシェアすることがないようにしてください。

教員との連絡・相談方法 / Method to Contact the Lecturer

メールアドレス1: Eiji.Nishine[at]healthcareBiz.jp

メールアドレス2: Eiji.Nishine[at]gmail.com

※ [at]は@に置き換える。

相談可能場所:すべてE-mailにて

相談可能時間:授業中はZoom内チャットにて。それ以外の時間帯は随時（深夜～早朝は除く）

【重要】Zoom URL等は、後期開講前に履修者に案内します。